

常総市まち・ひと・しごと創生

総合戦略会議

# 会 議 録

と き 平成30年10月15日（月）午後2時から

ところ 常総市役所 本庁舎1階市民ホール

平成30年10月15日（月）午後2時から、常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議を常総市役所「本庁舎1階市民ホール」に招集する。

## ■会議日程

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 協議事項
  - (1) 議事録署名委員の指名について
  - (2) 地方創生拠点整備交付金事業の効果検証について
  - (3) 常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略の効果検証について
- 4 その他
- 5 閉会

## ■会議出席者

委員	與座 清	飯田 ふじ子	堀越 輝子	小林 剛
	青木 清人	中川 邦夫	北島 重司	軽部 良一
	内村 尚史	岡田 一夫	五木田 裕一	北村 篤子
	藤島 忠夫（会長）	岡野 克巳	倉金 一廣	

事務局	総務部長	荒木 悟志（総務部長）
	総務部行政経営課長	小林 寛明（行経課長）
	総務部行政経営課長補佐	神達 隆樹（行経補佐）
	総務部行政経営課行政経営係長	落合 宣之（行経係長）
	総務部行政経営課行政経営係	伊藤 和芳（行経係員）
	総務部行政経営課合成経営係	谷田部裕司（行経係員）

※（ ）内は本議事録内での略称を示す

(午後2時00分 会議開始)

行経課長：本日は、お忙しい中お集まりいただき感謝する。定刻となったので、ただ今から常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議を開催する。私、行政経営課の小林が本日の司会を務めさせていただく。まず始めに、皆様のお手元に戦略会議委員の委嘱状を置かせていただいた。これは、平成30年5月24日をもって前任期が満了となったことに伴い、平成30年7月2日からの改めての委任状となる。なお、任期については平成33年7月1日までの3年間となるので、今後ともご協力をお願いします。

続いて、当会議の会長である常総市副市長の藤島からご挨拶をいただく。

会長：本日はお忙しい中、まち・ひと・しごと創生総合戦略会議にご出席いただき感謝申し上げます。また、日頃より、市政へのご理解とご協力を賜り、この場をお借りして感謝申し上げます。

当市の状況においても、水害の影響により1年遅れたが、本日お集まりの委員各位のご尽力により、平成28年6月に「常総市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン及び総合戦略」が策定された。

策定後2年以上が経過したが、この間、総合戦略に基づき、本市も地方創生に向けた様々な取組みを実施している。本日はその取組みの検証を皆様方に2点ほどお願いします。まず1つ目は、地方創生拠点整備交付金を活用した2つの事業を実施している。この事業に対する検証をお願いしたい。2つ目は、常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略の中に12の目標を立てている。この12の目標に対して、皆様に効果検証をお願いします。本日は、この2つを確定して、結果を国へ報告するという会議となっている。

委員の皆様のご忌憚のないご意見を頂戴しながら、本日の会議を進めていきたい。

行経課長：これより協議に移らせていただく。常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議設置条例第6条に基づき、本会議の会長である藤島副市長に議事進行をお願いします。

会長：本会議は常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議設置条例第6条より、委員の過半数が出席しなければ開催できないとある。本日は事前に石塚委員、長岡委員から欠席の連絡を受けている。また、塚本委員がお見えになっていないが、委員総数18名に対し、15名の出席があるので本会議は成立する。それでは会議次第に従って会議を進行する。本会議は公開を原則としており、会議録を作成する都合上、レコーダーによる記録を取らせていただくので、あらか

じめご了承願う。それでは、協議事項に移る。まず始めに、協議事項（１）議事録署名委員の指名について。議事録署名委員については議長において指名させていただいてよろしいか。

【異議なしの声】

会 長：それでは、議長において指名させていただく。先ほど、事務局より説明があったとおり、今回お集まりの皆様は任期満了に伴い再任又は新たに委嘱されたところである。よって、お手元の委員名簿順で指名したい。そこで、與座委員と飯田委員を指名させていただく。後日、事務局が議事録の書面を持って伺うので、議事録を確認のうえ署名をお願いしたい。続いて、協議事項に入る前に、本日の会議の進め方について事務局より説明願う。

行経係員：本日の会議にあたり、事前に意見をいただき感謝する。本日、追加資料があるので確認をさせていただいく。

【資料の確認】

行経係員：それでは、本日の進め方について説明する。

【前方スクリーン及び配布資料により説明】

行経係員：説明は以上である。

会 長：事務局より、進め方について説明があったが、質問等はあるか。

【質問等なし】

会 長：それでは協議事項に移らせていただく。初めに、地方創生拠点整備交付金事業を活用した２つの事業について皆様にご審議いただく。  
まず初めに、事業No.1の地域コミュニティの再構築と災害に強い小さな拠点づくり事業について、事務局より説明願う。

行経係員：【資料に基づき説明】

会 長：ただ今、事務局よりNo.1の事業について説明があったが、意見はあるか。

岡田委員：犯罪件数順位とあるが、実際には1,000人当たり何件か把握しているか。

行経係員：ホームページで公表されている数字を活用しているため、そこまでは把握していない。

会 長：県の統計等々に確認すればわかるので、会議が終わるまでに確認して報告すること。

飯田委員：大生公民館の事業について防災的なことをお聞きしたい。駐車スペースはどれほどあるのか。備蓄倉庫は管理されているのか。

行経係長：詳しくは把握していない。確認する。

会 長：行政経営課がこの会議を主催しているが、この交付金事業については担当課も入らなければ質疑にならない。今の質問も確認すればすぐわかるので、調べて回答する。

軽部委員：A 3 資料の戦略分野 4 の自主防災組織数のグラフがあるが、こちらの目標値と資料 1 2 ページの目標値が違っている。

行経係長：A 3 資料が正確な数である。1 2 ページの数字は当初の計画のもの。当初計画の目標は達成しているが、達成したことで担当課から申し出があり、目標値を上げた。それが A 3 資料に反映されている。効果検証の時点では 1 2 ページで考えていただく。

倉金委員：大生公民館建設事業であるが、地域の公民館というのは地元の負担も考えられるが、今回は地元負担はあったか。

総務部長：市の公民館であるため地元の負担はない。

会 長：では、ご意見を集約してよろしいか。事前の意見シートの集計結果は 8 名の方に提出いただき、8 名の方が有効であったという結果であった。今の議論も踏まえて、採決方式で決めていきたい。有効であったという方は挙手をお願いする。

【有効・・・14名】

会 長：それでは、事業No.1 地域コミュニティの再構築と災害に強い小さな拠点づくり事業についての事業評価は有効であったということで決定する。

なお、コメント等については、先ほど追加資料等で提示したように、皆様の意見を基に決定した評価に沿って事務局で集約させていただく。

会長：続いて、事業No.2 豊田城改革プロジェクト～市民が自慢できる「お城」を目指して～について、事務局より説明願う。

行経係員：【資料に基づき説明】

会長：ただ今、事務局よりNo.2の事業について説明があったが、意見はあるか。

青木委員：事業担当課の評価だが、先ほどのNo.1の事業と比べると遠慮した評価となっているが理由は何か。

行経係員：あくまで担当課の率直な評価であるため、はっきりとしたことは申し上げられないが、KPIが両方とも達成できていないことからこのような評価になったと推測する。

会長：No.1の事業は、戦術KPIの3年後の目標数値に2017年度に到達したということ。No.2の事業は、3年後の目標には到達していないが、2014年度から増えているということでの評価ではないか。

北島委員：地方創生に相当程度効果があった、の相当程度とは。効果はどの程度なのか。これは地方創生の行政評価で決まっているのなら仕方がないが、2つ目は地方創生にある程度効果があった、の方が分かりやすかった。もう1つは戦略KPIで豊田城周辺施設利用人数と豊田城内利用人数があるが、この施設とはどのようなものがあるのか。

行経係員：国の様式に沿って記載している。基準については、事務局で次回考えたい。

行経係員：2つ目の質問について、戦略KPIの豊田城周辺施設利用人数の周辺施設の内訳は、豊田城ホール、豊田城図書室、豊田城展示室。また、今は廃止となっている石下体育館、また、石下総合福祉センター。こちらの施設の利用者を豊田城周辺施設利用人数にカウントしている。一方で、豊田城内利用人数については、豊田城ホール、豊田城図書室、豊田城展示室。こちらを集計した人数となっている。

飯田委員：1つの提案と質問だが、提案は、いろいろと改革を進めてバーチャルも拝見して凄く良かった。せっかくなので、防災面で最近VRを使って洪水でどの辺まで浸水するのかなどバーチャル体験などがあるようなので、もともとある民俗

的資料の他に、地形と共に常総市の災害時はこうであったというような資料をバーチャル体験でできるワークショップなどを取り入れてはどうか。今、全国的に災害が多いので防災意識は高まっていると思うのでしっかりとしたものを作れば平日、休日来館者数が増えると思う。

質問は、総合戦略の主要施策の城内サービス改革（カフェ、レストランなど）と記載があるが、水海道地区にみんなの広場というコミュニティカフェサロンがあるが、そういったものを考えているのか、それとも一般的な店舗を入れる方向で考えているのか。

行経係長：カフェレストランの方向は固まっていない。あくまで施策例として記載している。

会長：補足として、豊田城の限られたスペースを有料で貸出して、借りる方がいるかどうかをサウンディング調査等々を行い、生涯学習課に検討させている。ご要望のVRは、子供たちの教育の中に常総市では取り入れているという認識だが、まだやっていないのか。

岡野委員：VRは、実質的には子供たちの教育には使えていない。

会長：それでは、本市のキーワードである防災と豊田城の利活用の付加価値の中で連携した方が良いという提案は承るということで担当課に伝える。

会長：では、先ほど同様に評価の決定をさせていただく。事前の意見シートの集計結果は8名の方に提出いただき、8名の方が有効であったという結果であった。今の議論も踏まえて、採決方式で決めていきたい。有効であったという方は挙手をお願いします。

【有効・・・14名】

会長：それでは、事業No.2の事業評価は有効であったということで決定する。なお、コメント等については、先ほど追加資料等で提示したように、皆様の意見を基に決定した評価に沿って事務局で集約させていただく。

会長：では、先ほどの宿題について回答する。

行経補佐：大生公民館だが、駐車台数は身障者用2台を含め48台。また、大生公民館は避難所として水害時不適のため、災害備蓄倉庫は設けていない。水害時には2階のベランダに避難ができるように梯子を設置して一時避難に対応するという想定のもとつくられている。

行経係長：岡田委員の質問にお答えする。平成29年12月末現在の刑法犯の常総市内における件数は440件。この440件を平成29年10月1日現在の人口で割り返し、1,000人当たりになると犯罪率として7.233という数字となる。

会長：先ほどのご質問に対する回答ということで一括させていただいた。それを踏まえ協議事項(2)の地方創生拠点整備交付金事業の効果検証については、有効であったということによろしいか。

【異議なしの声】

会長：続いて、協議事項(3)常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略の効果検証についてに移る。それでは、事務局より説明願う。

行経係長：【戦略分野1戦略KPI①について、資料に基づき説明】

会長：ただ今、事務局より説明があったが、意見はあるか。

與座委員：評価をする際に何に対して評価をしたらよいか分からなかった。当然、戦略分野1にぶら下がっている戦略KPI①に対する評価だと思うが、その中に戦術KPIがぶら下がっている。当然その下に事務事業がぶら下がっている。例えば、個別に事務事業をここは必要ないのではないかという見方もある。そもそもKPIの取り方が違ったのではないかという見方もある。それさえなければ、非常に効果があったと言える。ある戦術KPIが駄目だったから効果がなかったという意見の出し方もできるので、非常に悩んでしまった。どう捉えれば良いのか。

行経係長：あくまでも戦略KPI①を達成するために重点分野A、B、Cがある。その重点分野の進捗管理、達成度を戦術KPIで測る。数値目標に対し、どの程度達成しているかという物差しがないため、評価が難しい。

会長：雇用創出のなかで、客観的にとれる数字ということで市民市内在勤人口率を指標として、基礎データを国勢調査時のデータということで60とした。これを連携して人口率を60にするためには、戦術KPI①、②、③が上がらないと戦略KPI①は上がらないという関係性は調査しているだろう。それが、與座委員が言う完全に連携しているのかという疑問はあるにしても、そこは連携していて目標達成に向けていろいろな施策を展開し、目標に向かっているのだから



の数字でいかがかという時に2017年の数字がない。どのように評価すればよいか。他の重点分野で頑張っていれば、2020年が分からなくてもある程度の評価ということで点数をつけても良いか。その目標の戦略KPIの数字が出ていれば客観的に評価できるが、出ていない場合は戦術KPIの数字がある程度右肩上がりであればということが自信をもって評価をできるということが委員の皆様意見だと思う。

北島委員：KPIはパフォーマンスである。政策が結果は出なくても機能していたとかを加味しないとKPIは回らなくなってしまう。

会長：北島委員からサポートしていただいたような視点で見る。戦略分野1の市民市内在勤人口率の評価をさせてもらってよろしいか。

北村委員：経営者側からの視点がないのか、評価が気になっている。例えば、市内に工場があり、本社も構えて、雇用を募集したときに、なかなか常総市の中からの雇用がない、手を挙げる人がいない。ハローワークに求人を出しても全然来ないというのが現状。商工業を再建し、振興するということに企業として頑張っているが、働く側の人たちがどうなのか。市内で暮らして市内で働く意識がどれぐらい市民にあるのかが疑問。これを高めるにはまずは市内の企業で働こうと皆さんが思わないとなかなか難しいというのが本音である。

会長：平成28年6月にどういう形で市民の方、皆さんを含めた有識者の方たちと議論を深めるかという時に、ある程度数字でやろうというのが基本的にあったと思う。その数字の探し方に時間がなかったのか、万人の8割9割が認めるような客観的数字があれば、戦略名と指標がある程度納得できれば良いので、前提としてはそこがなかなか難しい。それは北村委員がおっしゃったような付帯意見の中で、今後は定量的に測れない場合は定性的な補完を合わせて評価していかないとただ数字遊び的なものになってしまうのではと危惧されていると思うので、事務局の方でも定性的な評価も含めた中で、定性的な評価で定量的数字的なものを補完してもらおうという進め方をしたいと思う。

青木委員：人口を増やすことは至難の業。事務事業の数が多いので評価できるのではないか。

内村委員：事務事業の内容が重点分野の主要施策のどれに沿って行ったかというのが分かることより分かりやすいのではないか。

会長：そのような考え方の整理を前提とした中での評価という形で皆様のご意見を承る。事前の意見シートの集計結果は非常に効果的であったが1名，効果があったが6名，効果がなかったが1名であった。これは4段階で採決を取らせていただく。挙手をお願いする。

**【採決】戦略分野1 戦略K P I ①市民市内在勤人口率**

非常に効果的であった・・・1名

相当程度効果があった・・・2名

効果があった・・・・・・・・11名

効果がなかった・・・・・・・・0名

会長：ここで休憩をはさみ，3時20分再開とする。

(午後3時20分再開)

会長：続いて，戦略分野1 戦略K P I ②県内市町村民所得順位について，事務局より説明願う。

行経係長：【資料に基づき説明】

会長：ただ今，事務局より説明があったが，意見はあるか。

**【特になし】**

会長：事前の意見シートの集計結果は効果があったが6名，効果がなかったが1名であった。これも4段階で採決を取らせていただく。挙手をお願いする。

**【採決】戦略分野1 戦略K P I ②県内市町村民所得順位**

非常に効果的であった・・・0名

相当程度効果があった・・・0名

効果があった・・・・・・・・14名

効果がなかった・・・・・・・・0名

会長：続いて，戦略分野1 戦略K P I ③女性の就業率について，事務局より説明願う。

行経係長：【資料に基づき説明】

会長：ただ今，事務局より説明があったが，意見はあるか。

【特になし】

会 長：それでは採決に移る。事前の意見シートの集計結果は効果があったが8名であった。これも4段階で採決を取らせていただく。挙手をお願いする。

【採決】戦略分野1 戦略K P I ③女性の就業率

非常に効果的であった・・・0名

相当程度効果があった・・・1名

効果があった・・・・・・・・13名

効果がなかった・・・・・・・・0名

会 長：続いて、戦略分野2 戦略K P I ①子育て世代（20～49歳）転入出人数について、事務局より説明願う。

行経係長：【資料に基づき説明】

会 長：ただ今、事務局より説明があったが、意見はあるか。

飯田委員：子育て世代転入者が増加しているが、理由は何か。アンケートなど実施しているのか。また、自治会への加入率や健康スポーツイベント参加人数の減少の原因究明のためにもイベント開催時にアンケートを実施しているのか。

行経係長：子育て世代転入者数の増加等に関する直接的なアンケートはイベントなどで毎回実施しているわけではない。市としてもいろいろなアンケートを実施している中で、飯田委員にご提案いただいたような内容も考えていくことが必要かと思う。

会 長：今の質問の内容は3つ。1つは子育て世代転入者がどういったところで転入者がいるかということをも市民課と連携して把握した方が良いという提案。もう1つは自治会の加入が下がっている。これは自治区長会議等で取組んだほうがよいという提案。最後はスポーツイベントに限らず、イベントの効果を図るためにもイベント開催時は来場者の意見も伺った方が良いということ。これらは今後実施していなければやる。やっているのであればさらに充実させるということ。

飯田委員：データが紐づいていれば、評価の際に分かりやすい。

会 長：事前に資料を配布する際は、全ての項目についての理由などを補足資料でよいので付けたほうが判断しやすい。宿題として預かる。

会 長：それでは採決に移る。事前の意見シートの集計結果は非常に効果的であったが2名、相当程度効果があったが1名、効果があったが5名であった。挙手をお願いします。

【採決】戦略分野2戦略KPI①子育て世代（20～49歳）転入出人数  
非常に効果的であった・・・3名  
相当程度効果があった・・・6名  
効果があった・・・5名  
効果がなかった・・・0名

会 長：続いて、戦略分野2戦略KPI②豊田城周辺施設利用人数について、事務局より説明願う。

行経係長：【資料に基づき説明】

会 長：ただ今、事務局より説明があったが、意見はあるか。

五木田委員：なぜ、このように欠損データのものばかり挙げるのか。

行経係長：計画策定された段階では、5年の計画期間の中ということで想定されていたと考えるが、現状は城下町の整備、健康インフラの整備等々は実施されてないためデータがない。

会 長：重点分野Bの城下町整備計画、併せて重点分野Cの健康インフラの要因も含めた整備計画を予定しているのか。

総務部長：豊田城に関しては、今、官民連携の一環として、民間企業へどのような有効活用ができるかというサウンディング調査を実施している。先ほどのレストラン等の飲食業やその他の活用についてもアイデアを募集しているところである。

会 長：付け加えると、豊田城も含めて石下駅前、旧石下町役場跡地、豊田城周辺の整備計画を作るということで今後進めたい。その中で、こういった要因が継続できるような形はとりたい。そういう方向性は持っている。

飯田委員：豊田城周辺施設利用人数がでているが、最近、豊田城へ来館した際に受付の方に聞いたが、最近、マンホールカードというものが流行っているようで、カード目当てで、もらったらすぐに帰ってしまうそうである。そういった方の人数も入っているのか。もし、入っているのであれば分けたほうが中まで見てくれる方との差別化ができる。また、コレクター向けに常総市に興味をもってもらえるようなプランを展開していく必要があるのではないかと思う。

会 長：ご提言という形で承る。

会 長：それでは採決に移る。事前の意見シートの集計結果は非常に効果的であったが1名、相当程度効果があったが3名、効果があったが4名であった。挙手をお願いします。

【採決】戦略分野2 戦略K P I ②豊田城周辺施設利用人数

非常に効果的であった・・・1名

相当程度効果があった・・・9名

効果があった・・・4名

効果がなかった・・・0名

会 長：続いて、戦略分野2 戦略K P I ③休日滞在人口率について、事務局より説明願う。

行経係長：【資料に基づき説明】

会 長：ただ今、事務局より説明があったが、意見はあるか。

飯田委員：今回、データ不足のため判断が難しいものが多かったが、それぞれの復興イベントの参加人数が減少というより激減だが、理由を把握しているか。また、市内のお寺や神社を含め歴史的建造物が多く、昔からの風習もかなり残っているので、民俗学的な観光プロジェクトなども視野に入れたらどうか。千葉県に民族博物館がある。マニアの方は関東圏内であれば行く方も多い。そういった観光客の掘り出しを検討していただきたい。その際は循環バスは必要であると思う。

行経係長：復興イベントについて、当初、復興イベントという形でシンポジウム等を開催している。その人数がダイレクトに反映されているため、2016年度は多くなっている。2017年度は復興を冠としたイベントをやっていない。観光については、事業課も含めて提案という形で考えていく。

会 長：重点施策A, B, Cではイベントで数字を取ろうとしたが、今の提言の様に、観光という視点が足りない。そういった視点も評価に入れ、意見の集約の中に定性的に入れさせてもらうように勧めたいと思う。

会 長：それでは採決に移る。事前の意見シートの集計結果は効果があったが5名、効果がなかったが3名であった。これも4段階で採決を取らせていただく。挙手をお願いします。

【採決】戦略分野2戦略KPI③休日滞在人口率

非常に効果的であった・・・0名

相当程度効果があった・・・0名

効果があった・・・・・・・・14名

効果がなかった・・・・・・・・0名

会 長：続いて、戦略分野3戦略KPI①合計特殊出生率について、事務局より説明願う。

行経係長：【資料に基づき説明】

会 長：KPIの厚労省の合計特殊出生率が公表されるのはいつか。

行経係員：何年後に公表されるかは把握していない。ただ、ホームページを何回も頻繁に確認しているが、現在も更新されていない。

会 長：2012年までの1.39はいつ発表されたものか。

行経係員：策定期間に更新されていたので、平成28年には公表されていたと思う。

会 長：それでは、ただ今、事務局より説明があったが、意見はあるか。

飯田委員：合計特殊出生率とは具体的にどういうことを言うのか。

行経係員：15歳から49歳の女性の年齢別出生率を合計したもの。年齢別出生率で一生の間に産むとしたときの子どもの数。

会 長：それでは採決に移る。事前の意見シートの集計結果は効果があったが6名、効果がなかったが1名であった。挙手をお願いします。

**【採決】戦略分野3戦略KPI①合計特殊出生率**

非常に効果的であった・・・0名

相当程度効果があった・・・1名

効果があった・・・11名

効果がなかった・・・2名

会長：続いて、戦略分野3戦略KPI②待機児童数について、事務局より説明願う。

行経係長：【資料に基づき説明】

会長：ただ今、事務局より説明があったが、意見はあるか。

**【特になし】**

会長：それでは、採決に移る。挙手をお願いします。

**【採決】戦略分野3戦略KPI②待機児童数**

非常に効果的であった・・・0名

相当程度効果があった・・・3名

効果があった・・・10名

効果がなかった・・・1名

会長：続いて、戦略分野3戦略KPI③学校に行くのが楽しいと思っている児童・生徒の割合について、事務局より説明願う。

行経係長：【資料に基づき説明】

会長：ただ今、事務局より説明があったが、意見はあるか。

**【特になし】**

会長：それでは、採決に移る。挙手をお願いします。

**【採決】戦略分野3戦略KPI③学校に行くのが楽しいと思っている児童・生徒の割合**

非常に効果的であった・・・1名

相当程度効果があった・・・7名

効果があった・・・6名

効果がなかった・・・・・・・・・・0名

会長：続いて、戦略分野4戦略K P I ①市民からの苦情・意見件数について、事務局より説明願う。

行経係長：【資料に基づき説明】

会長：ただ今、事務局より説明があったが、意見はあるか。

【特になし】

会長：それでは、採決に移る。挙手をお願いする。

【採決】戦略分野4戦略K P I ①市民からの苦情・意見件数

非常に効果的であった・・・・・・・・0名

相当程度効果があった・・・・・・・・2名

効果があった・・・・・・・・11名

効果がなかった・・・・・・・・1名

会長：続いて、戦略分野4戦略K P I ②1000人当たり犯罪率順位について、事務局より説明願う。

行経係長：【資料に基づき説明】

会長：ただ今、事務局より説明があったが、意見はあるか。

【特になし】

会長：それでは、採決に移る。挙手をお願いする。

【採決】戦略分野4戦略K P I ②1000人当たり犯罪率順位

非常に効果的であった・・・・・・・・0名

相当程度効果があった・・・・・・・・6名

効果があった・・・・・・・・8名

効果がなかった・・・・・・・・0名

会長：続いて、戦略分野4戦略K P I ③広域及び産官学金の連携事業実施件数について、事務局より説明願う。



行経係長：【資料に基づき説明】

会 長：ただ今、事務局より説明があったが、意見はあるか。

飯田委員：重点分野Cで2016年度につくば市との地域公共交通広域連携交通網の形成が実施されているようだが、来年度以降の予定は。また、9月9日の防災シンポジウムの際に、市を越えて常総市との広域連携のことで近隣の市長さんがお見えになり、防災面でも連携させていきたいとおっしゃっていたが、来年度以降そのような取組みはあるのか。

行経課長：現在、自治体の生き残りをかけ、近隣自治体との連携は必要となってきた。既に連携している様々な事業もある。一自治体に限らず近隣の自治体で同じような取組、地域性を含めた上での取組みができるところは積極的に連携を推進している。

飯田委員：そういったことが分かりづらかった。知っていれば周辺の方へ自慢ができる。そういう意味でも市民への周知は必要。

会 長：市役所においては昨年の公共交通広域連携と先日の防災の連携。また、定住自立圏ということで定住と自立の視点での連携を進めている。改めて数字的なものを表せるように努めていく。

会 長：それでは、採決に移る。挙手をお願いします。

【採決】戦略分野4戦略KPI③広域及び産官学金の連携事業実施件数

非常に効果的であった・・・0名

相当程度効果があった・・・0名

効果があった・・・14名

効果がなかった・・・0名

会 長：本日の協議事項はすべて終了した。

なお、本日決定、報告された事項については、市のホームページ等において公表するとともに広報紙へ掲載し広く周知していく。

以上をもって、本日の戦略会議を閉会する。

(午後4時10分 会議終了)

上記の議事の正確なることを証するためここに署名する。

平成30年11月15日

常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議

会長

藤島 忠夫

議事録署名委員

與座 清

同

飯田 ふじ子